

令和4年第11回定例会
藤崎町教育委員会議事録

日	時	令和4年11月30日(水)	午後1時30分
場	所	常盤生涯学習文化会館	視聴覚室

第11回定例会議事日程

1 開 会

2 議事録署名者の指名

3 会期の決定

4 教育委員会議事録の概要報告

5 議決事項

議案第29号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について
(12月補正予算)

6 その他

7 閉 会

藤崎町教育委員会

出席者委員

委員	(1番)	榊	公子
委員	(2番)	加福	哲三
委員	(3番)	工藤	留美
委員	(4番)	工藤	優

教育委員会事務局

教育長	羽賀	義易
学務課長・学校給食センター所長	佐藤	康文
生涯学習課長、常盤生涯学習文化会館・常盤公民館長	佐々木	泰人

事務局職員

学務課課長補佐	成田	康治
学務課主査	工藤	聡

午後1時30分 開会

◎羽賀教育長

ただいまから、令和4年第11回藤崎町教育委員会会議を開会いたします。

はじめに、藤崎町教育委員会会議規則第26条の規定により、本日の議事録署名者を3番の工藤留美委員と4番の工藤優委員にお願いします。

次に、藤崎町教育委員会会議規則第9条の規定により、会期についてお諮りします。会期を令和4年11月30日の一日間とすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

異議なしと認め会期を令和4年11月30日の一日間とします。

次に、『令和4年第10回藤崎町教育委員会議事録の概要について』、報告をお願いします。

◎成田学務課長補佐（事務局）

令和4年第10回藤崎町教育委員会定例会の概要を報告します。

令和4年第10回定例会は、令和4年10月26日（水）午後1時30分常盤生涯学習文化会館 視聴覚室において開催されました。

欠席された委員はいませんでした。

報告事項として

報告第26号 入札結果について

報告第27号 【専決事項】藤崎町教育委員会パートタイム会計年度任用職員設置要綱の一部改正について

報告第28号 【専決事項】藤崎町外国語指導助手設置要綱の一部改正について

議決事項として

議案第27号 藤崎町就学援助事業実施要綱の一部改正について

議案第28号 藤崎町年縄伝承館の指定管理者の指定の件について

が審議され可決されました。

第10回定例会議事録の概要は、以上であります。

◎羽賀教育長

報告が終わりましたが、ご質問等ございますか。

〔「なし」という声あり〕

無ければ、今回は報告事項がありませんので議案審議に入ります。『議案第29号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（12月補正予算）』を議題とします。説明を求めます。

◎成田学務課長補佐（事務局）

1 ページをお開き下さい。

議案第29号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（12月補正）。

理由 議会の議決を経るべき議案について町長から意見を求められたことに伴い、教育委員会の決定を得る必要があるので提出するものであります。

3 ページをお開き下さい。

資料1 令和4年度藤崎町一般会計（教育費）12月補正予算案であります。

今回の補正は、歳入は無く、歳出が36,710千円の増額となります。

4 ページをご覧ください。歳入・歳出の明細になります。

歳入については、ございません。続いて歳出についてです。主なものについてご説明しますが、各款項目の給料・職員手当等につきましては、青森県人事委員会の勧告に基づく町職員等の給料表等の改正によるものが主なものとなっています。

始めに2目事務局費についてですが、12節委託料の校務支援システム構築業務委託料16,635千円は、教員の業務負担軽減のため小中学校5校に児童生徒の学籍情報や成績・健康管理などの機能を持ったシステムの構築費用になります。「ふるさとから見守る応援事業委託料」1,200千円については、昨年度も実施した事業を今年度も実施するものであります。実績を考慮し60名に対し2万円程度の食料品等を1回発送することとしているものです。

3目 給食センター費ですが、需用費の燃料費、光熱水費、賄材料費は電気・ガス・食材等の価格高騰による追加費用でとなります。

5 ページをお開き下さい。

2項 小学校費については、藤崎小、藤崎中央小、常盤小ともに燃料費の追加は単価増、光熱水費の追加についても価格高騰によるものです。

藤崎中央小学校の工事請負費 プール棟トイレ改修工事費は、和式を洋式便器に交換する経費で、備品購入費の図書購入費は寄付金を財源としたもので、一般備品購入費は机、椅子20セット分の購入費です。

3項 中学校費についても燃料費の追加は単価増、光熱水費の追加についても価格高騰によるものです。

藤崎中学校の工事請負費 階段手すり取付工事費は、令和5年度に入学予定の肢体不自由の生徒に対応するための工事費となります。一般備品購入費も令和5年度肢体不自由特別支援学級新設に伴う生徒用椅子に取り付けする装具の購入費となります。

6 ページをご覧ください。

4 項 社会教育費については、1 目社会教育総務費の委託料 藤崎町文化センター指定管理料 2, 695 千円についても、電気料の価格高騰等の追加です。

2 目 公民館費 ながしこ実行委員会補助金の残額の減額は事業費確定によるものです。

4 目 保健体育費 1 2 節委託料のスポーツプラザ藤崎等指定管理料の追加も電気料金等の価格高騰によるものです。1 8 節 負担金補助及び交付金の町民運動会実行委員会補助金の減額は事業費確定によるもので、県民県民体育大会実行委員会補助金の減額は新型コロナウイルス感染拡大防止による中止によるものとなっております。町スポーツ少年団等各種補助金の追加は、東北小学生バトミントン大会及び全国大会参加の経費補助です。

7 目 常盤生涯学習文化会館管理運営費についての燃料費の追加は灯油、ガスの単価増、光熱水費の追加についても価格高騰によるものです。

7 ページをお開き下さい。

1 1 款の災害復旧費は、教育施設等災害復旧費として、8 月の大雨による被害の復旧のために計上された、ライフコート平川の野球場及び多目的運動広場等の復旧工事費の財源内訳の変更となっております。

議案第 29 号については以上であります。

◎羽賀教育長

説明が終わりましたが、この件につきまして何かご質問はございますか。

◎加福委員

4 ページの校務支援システム構築業務委託料の業務内容について、もう少し詳しく教えてください。

◎佐藤学務課長

校務支援システムですが、こちらのパンフレットにありますスズキ教育ソフト株式会社から出されている校務支援システムの導入に係るものです。後ほどこちらのパンフレットをコピーして内容を差し上げたいと思います。このシステムですが、名簿の管理、子供達の出席情報状況、保健管理、文書管理、通知票の作成といったものが一元管理できるシステムとなっております。子供の情報が個々のパソコンに残るのではなく、各学校にサーバー形式でサーバーを置いて、その中にすべて情報が保存される形となります。なので、先生方がデータで情報を持ち出すことはできない仕組みとなります。必要な物はプリントアウトして使う形のもので、導入に際して学校において使う名簿の数がものすごく多くびっくりしたところで、小学校では約 52 種類、中

学校では51種類の名簿が作られているそうです。この名簿がクラス名簿に始まり、例えばテストの順番の名簿、部活動の名簿だったり、様々な名簿が必要とされているらしいのですが、このシステムを使えば、それが一瞬で作れるというものであります。教育長に聞いたところ、その名簿を作るのが忙しいと聞いております。それがスイッチひとつで出来てしまうというところがございます。先ほど申し上げましたとおり、成績表も作れますので、小学校ですと1年生から6年生までの情報が1つのシステムに入っていますので一括で見れる、さらにはそのデータを中学校に持ち越すこともできます。小中、その子供について連続した管理で見守っていくということが可能となり、このシステムでやっていくことが出来ます。それと先ほど保健管理という話をさせていただきましたが、保健管理ソフトで『えがお』というのがございまして、実は5校の保健室にこのソフトが入っています。このソフトに入っているデータをそのまま取り入れることも可能でたいへん便利なものとなっています。この『えがお』というソフトには体力測定・身体測定等のデータが全部そのまま残っていますので、その子供について管理していけるシステムとなっています。システムの内容については以上となります。

ちなみに平均で年あたり162時間の時間短縮になっているという実績があるそうです。平均ですので、これより短い人も居ますし長い人もいるということになります。実は出退勤の管理もでき、文科省でもこのようなシステムで管理してくださいということもあり、今回システム導入経費を計上させていただいたものであります。

◎羽賀教育長

近隣の状況もお知らせください。

◎佐藤学務課長

近隣の状況で申しますと、田舎館村と大鰐町では既に導入してございます。その他弘大附属で導入しています。平川市では来年度全校に導入すると聞いております。黒石市は来年度小学校1校、中学校1校に試験的に導入すると聞いております。弘前市は時期がまだ確定していませんが全小中学校に導入する計画で進んでいると聞いてございます。今申し上げた近隣の他に、八戸市を始めとして県内で13市町村で導入済みのシステムでございます。

◎羽賀教育長

近隣の市町村でも導入あるいは導入するという状況から、転勤しても同じスズキのシステムが使えるということで他市町村でも採用しているシステムをわが町でも導入する方向でいきたいということです。

委員の皆さんから意見はありませんか。

◎加福委員

そのシステムそのものはその業者しかないということでしょうか。ほかにもこういう関連しているものがあるのかどうか教えてください。

◎佐藤学務課長

校務支援ソフトという名前では、NTTとか他社でもございます。ただ、NTTのものを県内の高校で入れたというふうに聞いておりますが、評判が悪く使い勝手が良くないということを聞いております。日本全国で導入実績が一番多く、使い勝手が良いというのがスズキの校務支援ソフトでございます。ちなみにこの辺ですとシステムを導入できるのがビジネスサービスさんで特約店の契約していますのでそこでなければ扱えないという形となっております。今回1,600万円という高額となっておりますが、もともとこのシステム自体最初に提示されたのが2,700万円位ですが、それをこの時期にやってくれるのであればということでこれぐらいの金額になりました。また今回の1,600万円は全額コロナ関係交付金を充当します。対象となるのが令和3年度交付金で繰り越ししている交付金があり、令和4年度中に使い切りたいということと、令和4年度のコロナ交付金では対象となっていないため、今入れれば安くも出来るし一般財源が0で早くも出来るという、もろもろの好条件が重なりましてそれで今回補正予算に計上したという形になっています。

◎加福委員

そうすれば随意契約ということになりますか。

◎佐藤学務課長

おっしゃるとおりです。1者随契の契約になります。

◎加福委員

これはきちんとした理由があるのでいいのですが、議会で話題となるかわかりませんが、3年度の繰り越した予算があるということでそれを有効活用するのであればスムーズに行くと思いますが、随意契約そのものの理由を注意してやっていただければと思います。

それともう一つ5ページの藤崎中学校の工事請負費ですけれども、来年度肢体不自由者の子が入ってくるということで、階段手摺取付はどの辺に取り付けするのでしょうか。

◎学務課長

藤崎中学校入っていただきまして正面にある階段と左手奥にある階段の2箇所に手摺りを取り付けることになります。手摺りが高い位置にありますので、低い位置に取り付けするものです。

◎加福委員

わかりました。

◎羽賀教育長

ほかにございますか。

◎榊委員

先ほどのシステムのことですが、健康診断票・指導要録とかもすべてシステムで完成
することができるといえることですね。小学校1年生から中学校3年生まで一貫し
て管理できるということですが、保存年限は紙媒体で保管されているということによ
ろしいでしょうか。

◎学務課長

要録の保存については、法律に基づき紙で保存していく形になります。データはデ
ータ保存、紙は最終的に出力して紙保存という形になります。

◎榊委員

わかりました。疑問に思いましたので質問させていただきました。

◎羽賀教育長

ほかにございますか。

◎工藤優委員

転出入の場合の、要録のやりとりは委員会からの親展で紙でということ、データ
のやりとりは無いということによろしいでしょうか。

◎佐藤学務課長

はい、データでのやり取りはありません。

◎工藤優委員

わかりました。

◎羽賀教育長

ほかにご質問ありませんか。

補正に関しては、あとよろしいでしょうか。

〔「はい」という声あり〕

質問が終わりました。『議案第29号 議会の議決を経るべき議案についての意見
の申し出について（12月補正予算）』についてご異議ございませんか。

〔「なし」という声あり〕

無ければ、議案第29号を原案のとおり承認します。

続いて、その他に入りますが事務局から何かございますか。

◎佐藤学務課長

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（案）」についての資料説明

《要旨》

中学校での部活動について、スポーツ庁・文部科学省で令和7年度までに地域の力を入れて令和7年度までに移行が必要な旨を説明。藤崎町教育委員会でどのような形で取り組んでいくか委員の意見を頂きたいため、資料配付により確認してほしいことを伝える。また、町の取組方針の考え方についても説明。

◎羽賀教育長

以上で本日の議案審議を終了いたします。

会議録作成者

藤崎町教育委員会 学務課

課長補佐 成田 康治

閉会時間 午後2時18分

教育長 羽賀 義易

3番 工藤 留美

4番 工藤 優